

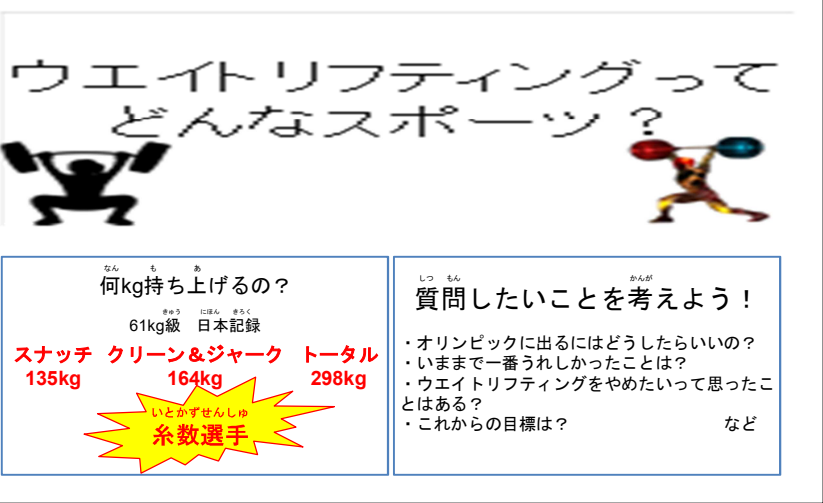
令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 土浦市立都和小学校 】

1 実践テーマ	I・V																
2 実施対象者 (学年・人数)	1年生 62名 2年生 71名 3年生 62名 4年生 61名 5年生 80名 6年生 57名 合計 393名																
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間、道徳、特別活動)</p> <p>② 行事名 (オリ・パラ教室)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>																
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックやスポーツ全体への興味・関心を高め、スポーツを楽しむ心情、スポーツに対して前向きな気持ちを育てる。 ・トップアスリートの交流を通して「ホンモノ」に触れ、夢や希望に向かって努力することの大切さや支える人への感謝の気持ちを育てる。 																
5 取組内容	<p>1 本校教諭によるウエイトリフティング競技、オリンピックに対する事前学習</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>ウエイトリフティングって どんなスポーツ？</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3">なんもあ 何kg持ち上げるの？</td> </tr> <tr> <td colspan="3">61kg級 日本記録</td> </tr> <tr> <td>スナッチ 135kg</td> <td>クリーン&ジャーク 164kg</td> <td>トータル 298kg</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">いとみせんしゆ 系数選手</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">しつもん 質問したいことを考えよう！</td> </tr> <tr> <td style="width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックに出るにはどうしたらいいの？ ・いままで一番うれしかったことは？ ・ウエイトリフティングをやめたって思ったことはある？ ・これからの目標は？ </td> <td style="width: 20%; text-align: right; vertical-align: bottom;">など</td> </tr> </table> </div> <p>*内容</p> <p>(1) ウエイトリフティング競技についての基本的な知識について学ぶ。</p> <p>(2) 系数選手について知る。</p> <p>(3) オリンピックやウエイトリフティング競技について、系数選手の生き方について知りたいことを考える。</p> <p>*東京大会についての意欲を喚起し、系数選手の試合観戦を促す。</p>	なんもあ 何kg持ち上げるの？			61kg級 日本記録			スナッチ 135kg	クリーン&ジャーク 164kg	トータル 298kg	いとみせんしゆ 系数選手			しつもん 質問したいことを考えよう！		<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックに出るにはどうしたらいいの？ ・いままで一番うれしかったことは？ ・ウエイトリフティングをやめたって思ったことはある？ ・これからの目標は？ 	など
なんもあ 何kg持ち上げるの？																	
61kg級 日本記録																	
スナッチ 135kg	クリーン&ジャーク 164kg	トータル 298kg															
いとみせんしゆ 系数選手																	
しつもん 質問したいことを考えよう！																	
<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックに出るにはどうしたらいいの？ ・いままで一番うれしかったことは？ ・ウエイトリフティングをやめたって思ったことはある？ ・これからの目標は？ 	など																

2 道徳における「希望と勇気、努力と強い意志」の学習（東京書籍）

- 第1学年 「こぐまの らっぱ」
- 第2学年 「ぼくは 「のび太」 でした
- 第3学年 「ーりん車にのれた」
- 第4学年 「花丸手帳」
- 第5学年 「ベートーベン」
- 第6学年 「心をつなぐ音色」

3 系数陽一氏を招いたオリ・パラ教室

- (1) 日時 2021年12月7日（火）
- (2) 講師 系数 陽一 選手
(リオデジャネイロ大会、東京大会 ウエイトリフティング競技代表／警視庁所属)
- (3) 対象 1・2年生（3時間目） 3・4年生（4時間目） 5・6年生（5時間目）
- (4) 内容
 - ・講演「夢に向かって努力を」
 - ・ウエイトリフティング競技の実技披露、代表児童による体験

オリ・パラ教室の内容（児童による司会）

- ① はじめのことば
- ② 講師紹介（本校教諭）
- ③ 系数選手による講演
- ④ 児童による体験（100 kg）
- ⑤ 系数選手による実演（クリーン&ジャーク）
- ⑥ 質問コーナー（本校教諭進行）
*あらかじめ児童から回収
- ⑦ お礼の言葉（感想発表）
- ⑧ おわりのことば

講演内容

- ① 幼少期の系数選手
- ② ウエイトリフティングとの出会い
- ③ リオデジャネイロ大会での経験
- ④ リオデジャネイロ大会・東京大会を通して
- ⑤ 都和小の子供たちに伝えたいこと



系数選手の講話を聞いたり、試技を直接見たりすることで「ホンモノ」に触れ、心が大きく動かされました。



各学年の代表の児童が実際に100kgの重さを体験しました。

オリンピックで強敵(ライバル)を前にしたとき、何を感じましたか？

2年 男子

オリンピックで結果が4位だった時、どう思いましたか？

5年 女子

苦しいことや辛いことがあった時、どうやって乗り越えましたか？

2年 男子

より効果的にねらいに迫るため、事前に記名式で質問を児童から回収し、当日は質問事項を意図的に組み立てました。



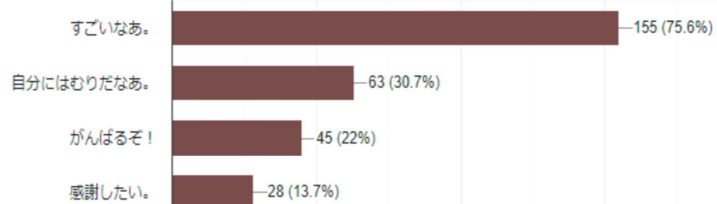
糸数選手と会場が一つになりました。

4 事後指導

オリ・パラ教室に関する振り返りアンケートの実施 (Forms による回収)

① 糸数さんの話や実技を見て感じた思い (選択回答・複数可)

糸数さんのお話を聞いて、感じた気持ちに一番近いものをチェックしましょう。



② オリ・パラ教室を通して感じたこと（事前の授業や当日の講演を含む）

- 努力は無限なんだなと思った。
- やっぱり「努力すると報われる」というのは本当にその通りなんだなと思いました。
- あきらめずに努力し続けることで、夢は叶うと学びました。小さな思いから、すごい人になっている系数選手は、あきらめないで今いるので、自分も悔しくてあきらめなければ何かを持っているかもしれないことが大切なんだなと感じました。
- 人は、必死に努力すればやりたいことはできるようになることが分かりました。
- 系数選手は、『努力無限』という言葉の通り何があっても（試合に負けてしまったり、うまくいかなかったりしたときも）誰よりも早くジムに通ったり、最後まで残って運動などをして誰よりも努力をし続けることが大切とおっしゃっていてとてもすごいなと思いました。オリンピック・パラリンピックのことをもっと深く知ることができました。それに系数選手が目の前で挙げているところを見て、テレビで見るよりも迫力があってすごいなあと改めて思いました。系数選手それに斎藤先生ありがとうございました。

③ これからの自分の生き方に生かしていきたいこと

- 人のためになる何かをやっていきたいです。
- 今頑張っているものをそのまま頑張りたいです。
- 無理だと思ってもあきらめないようにしたいです。
- 系数選手みたいにちょっとしたことをきっかけに努力したいです。色々な事に挑戦してみ、興味をもったことを続けていきたいです。
- 努力をする姿勢や緊張のほぐし方などを生活に役立てたいです。
- 周りの人に感謝して努力をしたいです。
- 自分の夢を叶えるために、1つ1つ今自分ができることを見つけていきたいです。
- 何事にも挑戦し、色々なことに興味をもちながら生活していきたいです。
- これからは、たくさん勉強し、運動して自分が今できることや、やりたいことに挑戦してみたいです。
- 系数選手が言っていたように努力無限という言葉信じて今後の生活に役立つようにしたいです。
- 自分に甘えないようにしたいです（自分に厳しく！！）。
- わたしは系数選手のように夢に向かって駆け抜けていきたいと思いました。
- 夢をあきらめないで日々努力して、生活していきたいです。あきらめそうになっても努力すれば必ず何かを持っていると思いながら生きていきたいです。
- 自分に自信をもって頑張り、人の役に立つこともしたいです。

6 主な成果

- 対面で系数選手の講話を聞く経験や、直接、ウエイトリフティング競技の実技を参観したのは「ホンモノ」に触れる機会となり、児童に大きな感動を与えた。オリンピック大会、大会に参加する選手の思い、スポーツへの関心を高めた。
- 系数選手のウエイトリフティング競技との出会いや系数選手の生き方、2つのオリンピック大会への思いに触れ、事後の指導の児童の振り返りでは「自分の可能性を信じること」「あきらめずに取り組むこと」「努力し続けること」「周囲の人、支えてくれる人への感謝の気持ちを大切にすること」に関する感想が多く寄せられた。児童自身の前向きな考え方、生き方への意識を高めた。

<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本校教諭と系数選手に親交があったため、系数選手と連携し、事前指導から当日を見通した計画的な指導を心がけた。 • 系数選手は警視庁所属であったため、連絡調整は警視庁広報課に対応していただいた。特に、プレスリリースを行う場合は、あらかじめ広報課の許可が必要であるため、計画的な実施を心がけた。 • 本事業のねらいに迫る豊かな学びとするために、本校教諭による事前の指導の後に記名式で質問事項を児童からあらかじめ回収し、当日のオリ・パラ教室では質問事項を意図的に組み立てた。児童の課題意識を高め、より効果的にねらいに迫ることができた。 • 児童の多くにとってはあまりなじみのない競技であったため、できるだけ危険を回避しつつ「ホンモノ」に触れさせたいと考え、茨城県のウエイトリフティング協会に協力を要請し、器具借用等の協力を得ることができた。 • 総合的な学習の時間と道徳、特別活動を横断的に実施したことで、より高い教育的効果が得られるように工夫した。 • 東京大会が夏休みに実施されたため、7月に1回目の事前指導を行うとともに、同時に学校だより等で、保護者に系数選手を招いたオリ・パラ教室の実施を周知し、東京大会での系数選手の活躍をメディアを通して体感できるように指導した。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 東京大会の開催年であったため、大会前後の連絡調整が難しかった。大会開催後に招聘する予定であったが、講師が多忙を極め、直前まで様々な調整が必要となった。 • 感染症拡大防止に配慮し、参加人数を制限し、2学年ずつ3回に分けての開催となった。今後、感染状況を勘案した開催となると、様々な制限を予測した計画案が必要になると思われる。 • 学期末の開催となったため、児童のまとめの活動の時間が十分に確保することが難しかった。 • より豊かな学びとなるように、教科横断的な学習の可能性をさらに探っていきたい。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本校教諭と親交がある系数選手は、児童にとっても身近なオリンピック選手となった。継続して生きた教材として学びを続けていく。 • 様々なスポーツに触れることや体験することで生涯にわたって体を動かすことの楽しさや大切さに触れる指導を継続していく。 • 総合的な学習の時間を活用し、体育を中心とした教科横断的な学びを構築していく。 • 機会があれば、直接、対面でお話を聞く機会を得たい。児童への教育的効果は非常に高いと思われる。事業の継続により、多くの学校、児童生徒が感動できる機会となってほしいと考える。